

## 第77回 仏教公開講座

# 生きるって ということ

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2010年11月20日(土) 午後6時30分～8時30分	
講 師	太田 浩史氏(高岡教区大福寺住職)	
講 題	『教如上人の精神と大谷派誕生』	
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈(同朋奉讃式)
	6時45分	講 義
	8時15分	質問の時間
	8時30分	恩徳讃・閉会



### 講師紹介

講師紹介 太田 浩史(おおた ひろし)

真宗大谷派高岡教区大福寺住職。日本民藝協会常任理事。となみ民藝協会会長。  
1955年富山県城端町(現南砺市)生まれ。大谷大学文学部卒。大福寺住職の傍ら  
2004年からとなみ民藝協会会長。2007年から日本民藝協会常任理事を務める。  
「土徳」をモットーに、地域の風土やお講を大切にされた教化の必要性を説く。

### 先生からのメッセージ

わが大谷派は三人の大切な先達を頂いております。一人目は言うまでもなく宗祖親鸞聖人、二人目は中興蓮如上人、そして三人目は東本願寺を開かれた教如上人です。しかしながら私たちはともすれば教如上人による東本願寺建立を仏法の問題ではなく、ややこしい政治史上の俗事として捉える傾向があり、今も大谷派を貫いているはずの、念仏者としての教如上人の精神について問い直す機会が少なすぎるのではないのでしょうか。

美濃は上人流浪の地であり、残された伝説は枚挙に遑りません。その御旧跡にあらためて身を置き、大谷派開闢の原点に心を致そうではありませんか。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」お電話ください。TEL058-265-0033